

授業科目	救急処置 A		担当教員	阿部 鯛一	
対象年次・学期	3 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	158 回	時間数
315 時間					
授業目的	救急活動では、症状や病態を正確に把握した上での的確な対応が求められる。そのため、抜けのない観察・問診を行い、救急疾患や病態にたどり着くためのキーワードを見逃さず、正確な臨床推論を行う手法を身に付けることを目的とする。				
到達目標	傷病者の状況を多方面から捉える観察力と判断力、病態鑑別に必要な考察力を身に付け、適切な処置と病院選定ができるようにする。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第 10 版・第 11 版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	各項目ごとに実施される中間試験と定期試験結果を基に評価する		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項	救急活動の中から病態を理解する。 病態に合わせた救急活動の実技、臨床推論が主体。 メディカルラリーを通じた、模擬現場活動を実施する。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	救急処置の進め方について		
	2	オリエンテーション	救急処置の進め方について		
	3	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	4	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	5	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートの作成する。		
	6	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	7	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	8	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	9	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	10	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	11	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	12	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	13	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	14	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	15	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	16	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	17	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	18	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		

[illegible]

[illegible]

	84	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	85	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	86	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	87	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	88	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	89	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	90	臨床推論・CBL (ケースベースラーニング)	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	91	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	92	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	93	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	94	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	95	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	96	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	97	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	98	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	99	BLS 指導	他学科・他校へ出向き BLS を指導する。
	100	BLS 指導	他学科・他校へ出向き BLS を指導する。
	101	BLS 指導	他学科・他校へ出向き BLS を指導する。
	102	BLS 指導	他学科・他校へ出向き BLS を指導する。
	103	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	104	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	105	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	106	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	107	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	108	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	109	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	110	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	111	コミュニケーションスキル	様々な状況下におけるコミュニケーション技法を学ぶ
	112	コミュニケーションスキル	様々な状況下におけるコミュニケーション技法を学ぶ
	113	コミュニケーションスキル	様々な状況下におけるコミュニケーション技法を学ぶ
	114	コミュニケーションスキル	様々な状況下におけるコミュニケーション技法を学ぶ
	115	メディカルラリー	傷病想定現場活動

	116	メディカルラリー	傷病想定の現場活動
	117	メディカルラリー	傷病想定の現場活動
	118	メディカルラリー	傷病想定の現場活動
	119	メディカルラリー	傷病想定の現場活動
	120	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	121	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	122	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	123	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	124	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	125	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	126	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	127	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	128	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	129	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	130	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	131	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	132	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	133	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	134	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	135	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	136	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	137	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	138	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	139	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	140	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	141	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	142	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	143	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	144	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	145	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	146	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	147	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	148	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	149	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	150	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	151	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	152	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	153	感染対策	感染症に対する知識を習得するため、実際に自身で体感し、予防方法を学ぶ。
	154	感染対策	感染症に対する知識を習得するため、実際に自身で体感し、予防方法を学ぶ。
	155	救護活動	地域で開催されるイベントで発生する急病人や怪我人に対する救護活動を行う。
	156	救護活動	地域で開催されるイベントで発生する急病人や怪我人に対する

			する救護活動を行う。
	157	救護活動	地域で開催されるイベントで発生する急病人や怪我人に対する救護活動を行う。
	158	救護活動	地域で開催されるイベントで発生する急病人や怪我人に対する救護活動を行う。

[illegible]

授業科目	救急処置 B		担当教員	阿部 鯛一	
対象年次・学期	3 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	158 回	時間数 315 時間
授業目的	救急活動では、症状や病態を正確に把握した上で的確な対応が求められる。そのため、抜けのない観察・問診を行い、救急疾患や病態にたどり着くためのキーワードを見逃さず、正確な臨床推論を行う手法を身に付けることを目的とする。				
到達目標	傷病者の状況を多方面から捉える観察力と判断力、病態鑑別に必要な考察力を身に付け、適切な処置と病院選定ができるようにする。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第 10 版・第 11 版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	各項目ごとに実施される中間試験と定期試験結果を基に評価する		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項	救急活動の中から病態を理解する。 病態に合わせた救急活動の実技、臨床推論が主体。 メディカルラリーを通じた、模擬現場活動を実施する。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	救急処置の進め方について		
	2	オリエンテーション	救急処置の進め方について		
	3	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	4	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	5	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	6	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	7	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	8	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	9	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	10	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	11	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	12	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	13	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	14	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	15	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	16	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	17	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		
	18	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。		

[illegible]

[illegible]

	84	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	85	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	86	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	87	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	88	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	89	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	90	臨床推論・CBL（ケースベースラーニング	救急対応に必要な問診・聴取の手順を理解し、病態の知識を深め、臨床推論シートを作成する。
	91	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	92	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	93	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	94	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	95	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	96	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	97	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	98	BLS 指導 (BLSinstructor) 要領の習得	BLS を指導できる技術を学ぶ
	99	BLS 指導	他学科・他校へ出向き BLS を指導する
	100	BLS 指導	他学科・他校へ出向き BLS を指導する
	101	BLS 指導	他学科・他校へ出向き BLS を指導する
	102	BLS 指導	他学科・他校へ出向き BLS を指導する
	103	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	104	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	105	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	106	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	107	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	108	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	109	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	110	外傷救護実習	JPTEC に応じた外傷技術の習得
	111	コミュニケーションスキル	様々な状況下におけるコミュニケーション技法を学ぶ
	112	コミュニケーションスキル	様々な状況下におけるコミュニケーション技法を学ぶ
	113	コミュニケーションスキル	様々な状況下におけるコミュニケーション技法を学ぶ
	114	コミュニケーションスキル	様々な状況下におけるコミュニケーション技法を学ぶ
	115	メディカルラリー	傷病想定現場活動

	116	メディカルラリー	傷病想定の現場活動
	117	メディカルラリー	傷病想定の現場活動
	118	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	119	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	120	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	121	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	122	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	123	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	124	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	125	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	126	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	127	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	128	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	129	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	130	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	131	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	132	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	133	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	134	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	135	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	136	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	137	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	138	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	139	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	140	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	141	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	142	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	143	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	144	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	145	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	146	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	147	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	148	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	149	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	150	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	151	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	152	メディカルラリー	傷病想定 of 現場活動
	153	感染対策	感染症に対する知識を習得するため、実際に自身で体感し、予防方法を学ぶ。
	154	感染対策	感染症に対する知識を習得するため、実際に自身で体感し、予防方法を学ぶ。
	155	救護活動	地域で開催されるイベントで発生する急病人や怪我人に対する救護活動を行う。
	156	救護活動	地域で開催されるイベントで発生する急病人や怪我人に対する

			する救護活動を行う。
	157	救護活動	地域で開催されるイベントで発生する急病人や怪我人に対する救護活動を行う。
	158	救護活動	地域で開催されるイベントで発生する急病人や怪我人に対する救護活動を行う。

[illegible]

授業科目	救命応用 A		担当教員	北川 正博	
対象年次・学期	3 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	23 回	時間数
授業目的	国家試験に合格するための知識力向上を図る。				
到達目標	国家試験に合格するための知識を身に付ける。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第 11 版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	定期試験ならびにその他の結果により総合的に評価する		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	0			
	その他	30			
履修上の留意事項	国家試験対策が中心となります。過去問題演習の解答・解説中心の講義となり、より多くの実践問題をこなして行きます。1・2 年次に学んだ知識の活用となります。これまで学んだ内容をしっかりと見直して授業に参加の事。授業内容を定着させるためにも復習は不可欠です。同じ問題でも二度三度と解き直しをしましょう。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	総合演習	人体の構造と機能・生体の構成とその役割		
	2	総合演習	神経系・感覚系・呼吸系・循環系		
	3	総合演習	消化系・泌尿系・生殖系		
	4	総合演習	内分泌系・免疫系・血液系		
	5	総合演習	筋骨格系・皮膚系		
	6	総合演習	成長・発達と老化・疾患・炎症と感染・循環障害		
	7	総合演習	代謝障害・組織の退行性進行性変化・腫瘍・奇形・損傷・死		
	8	総合演習	全身所見の観察・局所所見の観察		
	9	総合演習	重症度・緊急度・処置総論・処置各論		
	10	総合演習	心肺停止・ショック・循環不全		
	11	総合演習	意識障害・呼吸困難・発熱・頭痛・めまい		
	12	総合演習	運動・感覚・痙攣・胸痛・動悸・不整脈		
	13	総合演習	喀血・腰痛・背部痛・腹痛・吐血・下血		
	14	総合演習	血尿・性器出血・鼻出血・嘔吐・下痢・歯痛		
	15	総合演習	神経・感覚・歯・口腔・呼吸・循環・消化疾患		
	16	総合演習	泌尿・生殖・内分泌・代謝・電解質・血液・免疫疾患		
	17	総合演習	筋・骨格・皮膚・感染症・小児・高齢者・妊婦・精神疾患		
	18	総合演習	外傷総論・受傷機転・外傷性ショック・現場活動		
	19	総合演習	頭部・顔面・頸部・脊髄・胸部・腹部・骨盤・四肢外傷		
	20	総合演習	皮膚・軟部・多発・妊婦・小児・高齢者・スポーツ外傷		
	21	総合演習	熱傷・電劇症・化学損傷・異物・縊頸・絞頸・刺咬症		
	22	総合演習	中毒総論・中毒各論・溺水・熱中症・偶発性低体温症		

	23	総合演習	高山病・減圧障害・酸素欠乏症・凍傷・環境障害
--	----	------	------------------------

[illegible]

授業科目	救命応用 B		担当教員	北川 正博	
対象年次・学期	3 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	23 回	時間数
授業目的	国家試験に合格するための知識力向上を図る。				
到達目標	国家試験に合格するための知識を身に付ける。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第 11 版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	定期試験ならびにその他の結果により総合的に評価する		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	0			
	その他	30			
履修上の留意事項	国家試験対策が中心となります。過去問題演習の解答・解説中心の講義となり、より多くの実践問題をこなして行きます。1・2 年次に学んだ知識の活用となります。これまで学んだ内容をしっかりと見直して授業に参加の事。授業内容を定着させるためにも復習は不可欠です。同じ問題でも二度三度と解き直しをしましょう。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	総合演習	人体の構造と機能・生体の構成とその役割		
	2	総合演習	神経系・感覚系・呼吸系・循環系		
	3	総合演習	消化系・泌尿系・生殖系		
	4	総合演習	内分泌系・免疫系・血液系		
	5	総合演習	筋骨格系・皮膚系		
	6	総合演習	成長・発達と老化・疾患・炎症と感染・循環障害		
	7	総合演習	代謝障害・組織の退行性進行性変化・腫瘍・奇形・損傷・死		
	8	総合演習	全身所見の観察・局所所見の観察		
	9	総合演習	重症度・緊急度・処置総論・処置各論		
	10	総合演習	心肺停止・ショック・循環不全		
	11	総合演習	意識障害・呼吸困難・発熱・頭痛・めまい		
	12	総合演習	運動・感覚・痙攣・胸痛・動悸・不整脈		
	13	総合演習	喀血・腰痛・背部痛・腹痛・吐血・下血		
	14	総合演習	血尿・性器出血・鼻出血・嘔吐・下痢・歯痛		
	15	総合演習	神経・感覚・歯・口腔・呼吸・循環・消化疾患		
	16	総合演習	泌尿・生殖・内分泌・代謝・電解質・血液・免疫疾患		
	17	総合演習	筋・骨格・皮膚・感染症・小児・高齢者・妊婦・精神疾患		
	18	総合演習	外傷総論・受傷機転・外傷性ショック・現場活動		
	19	総合演習	頭部・顔面・頸部・脊髄・胸部・腹部・骨盤・四肢外傷		
	20	総合演習	皮膚・軟部・多発・妊婦・小児・高齢者・スポーツ外傷		
	21	総合演習	熱傷・電劇症・化学損傷・異物・縊頸・絞頸・刺咬症		
	22	総合演習	中毒総論・中毒各論・溺水・熱中症・偶発性低体温症		

	23	総合演習	高山病・減圧障害・酸素欠乏症・凍傷・環境障害
--	----	------	------------------------

[illegible]

授業科目	教養Ⅲ A		担当教員	軽部 諭	
対象年次・学期	3 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	90 回	時間数 180 時間
授業目的	公務員試験の教養科目としての国語及び文章理解、人文科学、社会科学分野についての実力を養成する。 消防採用試験の教養試験に合格するための実力養成、社会科学・人文科学・文章理解の得点力アップ。				
到達目標	公務員試験に合格するための国語・文章理解、人文科学、社会科学分野の知識および解答テクニックを身につける。				
テキスト・参考図書等	絶対合格シリーズ 文章理解テキスト TAC 国語・文章理解テキスト SPI 基礎から始める問題集 オリジナルプリント 絶対合格シリーズ 社会科学テキスト・社会科学問題集 絶対合格シリーズ 人文科学テキスト・人文科学問題集				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60	定期試験、レポート、小テスト、等を基に総合的に評価する 社会系：定期試験、小テスト、授業態度を基に総合的に評価する (社会系：試験 70%、小テスト 20%、その他 10%)		
	レポート	10			
	小テスト	20			
	提出物	0			
	その他	10			
履修上の留意事項	1 回～18 回 担当：湊 久恵/ノートを準備する。毎回小テストを行う。学生の能力により内容を変更することがある。 19 回～90 回 担当：軽部 諭/テキストに沿って授業を展開する。必須な知識を定着させ、そこから連想して解答できるようになるよう、単元を繰り返す。一度学習したところと気を抜かず、取り組むように。週初回授業では小テストを行う。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	SPI 対策言語能力分野 1 (湊)	SPI3 言語分野過去問演習と解説 故事・ことわざ		
	2	SPI 対策言語能力分野 2 (湊)	SPI3 言語分野過去問演習と解説 故事・ことわざ		
	3	SPI 対策言語能力分野 3 (湊)	SPI3 言語分野過去問演習と解説 故事・ことわざ		
	4	SPI 対策言語能力分野 4 (湊)	SPI3 言語分野過去問演習と解説 故事・ことわざ		
	5	SCOA 対策 (湊)	SCOA 問題演習と解説 故事・ことわざ		
	6	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	作文クイックマスター		
	7	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	8	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	9	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	10	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	11	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	12	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	13	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	14	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	15	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	16	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		

17	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史
18	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史
19	政治 (軽部)	三権分立
20	政治 (軽部)	国会
21	政治 (軽部)	内閣～裁判所
22	政治 (軽部)	裁判所～日本国憲法
23	政治 (軽部)	日本国憲法～地方自治
24	政治 (軽部)	地方自治～選挙制度
25	政治 (軽部)	選挙制度
26	政治 (軽部)	選挙制度～各国の政治制度
27	政治 (軽部)	各国の政治制度～自由権
28	政治 (軽部)	自由権～その他、前提となる人権
29	政治 (軽部)	その他、前提となる人権～国際政治と日本
30	政治 (軽部)	国際政治と日本
31	政治 (軽部)	国際政治と日本
32	政治・日本史 (軽部)	国際政治と日本～古代
33	日本史 (軽部)	古代
34	日本史 (軽部)	古代～中世
35	日本史 (軽部)	中世～近世
36	日本史 (軽部)	近世
37	日本史 (軽部)	近世
38	日本史 (軽部)	近世～近代
39	日本史 (軽部)	近代
40	日本史 (軽部)	近代～現代
41	経済 (軽部)	市場と価格
42	経済 (軽部)	市場と価格～景気と物価
43	経済 (軽部)	金融政策～財政政策
44	経済 (軽部)	為替レートと貿易～国際経済との関わり
45	経済 (軽部)	国民所得と経済成長～現代日本経済の構造と課題
46	経済 (軽部)	現代日本経済の構造と課題～経済学史
47	社会 (軽部)	社会保障～環境問題・農業問題
48	社会・世界史 (軽部)	環境問題・農業問題～古代
49	世界史 (軽部)	古代～中世
50	世界史 (軽部)	中世～近世
51	世界史 (軽部)	近世
52	世界史 (軽部)	市民革命
53	世界史 (軽部)	ナポレオン時代～産業革命
54	世界史 (軽部)	19～20Cのヨーロッパ～第一次世界大戦
55	世界史 (軽部)	戦間期～第二次世界大戦
56	世界史 (軽部)	太平洋戦争～中国史 晋代
57	世界史 (軽部)	五胡十六国時代～唐代

	58	世界史 (軽部)	唐代～明代
	59	世界史 (軽部)	清代
	60	世界史 (軽部)	清代～中華人民共和国
	61	地理 (軽部)	地理の基礎知識～日本の気候
	62	地理 (軽部)	地形～世界の農牧業
	63	地理 (軽部)	生産量・輸出入・発電～東アジア
	64	地理 (軽部)	東南アジア～西アジア
	65	地理 (軽部)	アメリカ～ヨーロッパ
	66	地理 (軽部)	ヨーロッパ～南アメリカ
	67	地理 (軽部)	オセアニア～都市問題
	68	政治 (軽部)	用語確認 三権分立～裁判所
	69	政治 (軽部)	用語確認 裁判所～日本国憲法
	70	政治 (軽部)	用語確認 地方自治～選挙制度
	71	政治 (軽部)	用語確認 民主主義の発展～自由権
	72	政治 (軽部)	用語確認 社会権～国際政治と日本
	73	政治 (軽部)	用語確認 国際政治と日本
	74	経済 (軽部)	用語確認 需要と供給～財政政策
	75	経済 (軽部)	用語確認 財政政策～国民所得と経済成長
	76	経済・社会 (軽部)	用語確認 現代日本経済の構造と課題～労働事情
	77	社会・日本史 (軽部)	用語確認 環境問題～古代
	78	日本史 (軽部)	用語確認 古代～中世
	79	日本史 (軽部)	用語確認 近世
	80	日本史 (軽部)	用語確認 近代
	81	日本史・世界史 (軽部)	用語確認 日本史現代～世界史古代
	82	世界史 (軽部)	用語確認 中世～近代
	83	世界史 (軽部)	用語確認 近代～中国史
	84	世界史 (軽部)	用語確認 中国史
	85	世界史・地理 (軽部)	用語確認 イスラム史～日本の気候
	86	地理 (軽部)	用語確認 地形～アジア
	87	地理 (軽部)	用語確認 アジア～アフリカ
	88	地理 (軽部)	用語確認 ヨーロッパ～人口
	89	地理・倫理・現代社会 (軽部)	用語確認 漁業～東洋の思想
	90	倫理・現代社会・時事問題 (軽部)	用語確認 日本の思想～時事問題
	91		

[illegible]

授業科目	教養Ⅲ B		担当教員	軽部 諭	
対象年次・学期	3 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	90 回	時間数 180 時間
授業目的	公務員試験の教養科目としての国語及び文章理解、人文科学、社会科学分野についての実力を養成する。 消防採用試験の教養試験に合格するための実力養成、社会科学・人文科学・文章理解の得点力アップ。				
到達目標	公務員試験に合格するための国語・文章理解、人文科学、社会科学分野の知識および解答テクニックを身につける。				
テキスト・参考図書等	絶対合格シリーズ 文章理解テキスト TAC 国語・文章理解テキスト SPI 基礎から始める問題集 オリジナルプリント 絶対合格シリーズ 社会科学テキスト・社会科学問題集 絶対合格シリーズ 人文科学テキスト・人文科学問題集				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60	定期試験、レポート、小テスト、等を基に総合的に評価する。 社会系：定期試験、小テスト、授業態度を基に総合的に評価する (社会系：試験 70%、小テスト 20%、その他 10%)		
	レポート	10			
	小テスト	20			
	提出物	0			
	その他	10			
履修上の留意事項	1 回～18 回 担当：湊 久恵/ノートを準備する。毎回小テストを行う。学生の能力により内容を変更することがある。 19 回～90 回 担当：軽部 諭/テキストに沿って授業を展開する。必須な知識を定着させ、そこから連想して解答できるようになるよう、単元を繰り返す。一度学習したところと気を抜かず、取り組むように。週初回授業では小テストを行う。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	SPI 対策言語能力分野 1 (湊)	SPI3 言語分野過去問演習と解説 故事・ことわざ		
	2	SPI 対策言語能力分野 2 (湊)	SPI3 言語分野過去問演習と解説 故事・ことわざ		
	3	SPI 対策言語能力分野 3 (湊)	SPI3 言語分野過去問演習と解説 故事・ことわざ		
	4	SPI 対策言語能力分野 4 (湊)	SPI3 言語分野過去問演習と解説 故事・ことわざ		
	5	SCOA 対策 (湊)	SCOA 問題演習と解説 故事・ことわざ		
	6	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	作文クイックマスター		
	7	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	8	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	9	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	10	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	11	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	12	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	13	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	14	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	15	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		
	16	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史		

17	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史
18	文章理解、国語、文学・芸術 (湊)	現代文 故事・ことわざ 文学史
19	政治 (軽部)	三権分立
20	政治 (軽部)	国会
21	政治 (軽部)	内閣～裁判所
22	政治 (軽部)	裁判所～日本国憲法
23	政治 (軽部)	日本国憲法～地方自治
24	政治 (軽部)	地方自治～選挙制度
25	政治 (軽部)	選挙制度
26	政治 (軽部)	選挙制度～各国の政治制度
27	政治 (軽部)	各国の政治制度～自由権
28	政治 (軽部)	自由権～その他、前提となる人権
29	政治 (軽部)	その他、前提となる人権～国際政治と日本
30	政治 (軽部)	国際政治と日本
31	政治 (軽部)	国際政治と日本
32	政治・日本史 (軽部)	国際政治と日本～古代
33	日本史 (軽部)	古代
34	日本史 (軽部)	古代～中世
35	日本史 (軽部)	中世～近世
36	日本史 (軽部)	近世
37	日本史 (軽部)	近世
38	日本史 (軽部)	近世～近代
39	日本史 (軽部)	近代
40	日本史 (軽部)	近代～現代
41	経済 (軽部)	市場と価格
42	経済 (軽部)	市場と価格～景気と物価
43	経済 (軽部)	金融政策～財政政策
44	経済 (軽部)	為替レートと貿易～国際経済との関わり
45	経済 (軽部)	国民所得と経済成長～現代日本経済の構造と課題
46	経済 (軽部)	現代日本経済の構造と課題～経済学史
47	社会 (軽部)	社会保障～環境問題・農業問題
48	社会・世界史 (軽部)	環境問題・農業問題～古代
49	世界史 (軽部)	古代～中世
50	世界史 (軽部)	中世～近世
51	世界史 (軽部)	近世
52	世界史 (軽部)	市民革命
53	世界史 (軽部)	ナポレオン時代～産業革命
54	世界史 (軽部)	19～20Cのヨーロッパ～第一次世界大戦
55	世界史 (軽部)	戦間期～第二次世界大戦
56	世界史 (軽部)	太平洋戦争～中国史 晋代
57	世界史 (軽部)	五胡十六国時代～唐代

58	世界史 (軽部)	唐代～明代
59	世界史 (軽部)	清代
60	世界史 (軽部)	清代～中華人民共和国
61	地理 (軽部)	地理の基礎知識～日本の気候
62	地理 (軽部)	地形～世界の農牧業
63	地理 (軽部)	生産量・輸出量・発電～東アジア
64	地理 (軽部)	東南アジア～西アジア
65	地理 (軽部)	アメリカ～ヨーロッパ
66	地理 (軽部)	ヨーロッパ～南アメリカ
67	地理 (軽部)	オセアニア～都市問題
68	政治 (軽部)	用語確認 三権分立～裁判所
69	政治 (軽部)	用語確認 裁判所～日本国憲法
70	政治 (軽部)	用語確認 地方自治～選挙制度
71	政治 (軽部)	用語確認 民主主義の発展～自由権
72	政治 (軽部)	用語確認 社会権～国際政治と日本
73	政治 (軽部)	用語確認 国際政治と日本
74	経済 (軽部)	用語確認 需要と供給～財政政策
75	経済 (軽部)	用語確認 財政政策～国民所得と経済成長
76	経済・社会 (軽部)	用語確認 現代日本経済の構造と課題～労働事情
77	社会・日本史 (軽部)	用語確認 環境問題～古代
78	日本史 (軽部)	用語確認 古代～中世
79	日本史 (軽部)	用語確認 近世
80	日本史 (軽部)	用語確認 近代
81	日本史・世界史 (軽部)	用語確認 日本史現代～世界史古代
82	世界史 (軽部)	用語確認 中世～近代
83	世界史 (軽部)	用語確認 近代～中国史
84	世界史 (軽部)	用語確認 中国史
85	世界史・地理 (軽部)	用語確認 イスラム史～日本の気候
86	地理 (軽部)	用語確認 アジア～アフリカ
87	地理 (軽部)	用語確認 アジア～アフリカ
88	地理 (軽部)	用語確認 ヨーロッパ～人口
89	地理・倫理・現代社会 (軽部)	用語確認 漁業～東洋の思想
90	倫理・現代社会・時事問題 (軽部)	用語確認 日本の思想～時事問題
91		

[illegible]

授業科目	研究基礎 A		担当教員	三上 剛人	
対象年次・学期	3 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	10 回	時間数
授業目的	研究に必要な基礎的能力を育成する。 関連する研究論文を読み知見を広げる。				
到達目標	救急救命士に関連する研究をクリティークする。 1つ以上の研究論文の要点をまとめ、発表できる。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	レポートと提出物にて評価します。筆記試験はありません。		
	レポート	80			
	小テスト	0			
	提出物	20			
	その他	0			
履修上の 留意事項	研究論文を読み、他者に紹介できるようにまとめます。 講義主体ではなく、調べ学習中心で進めていきます。				
履修主題・ 履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	研究の概要	研究とは？救急医療における研究		
	2	関連学会	主に臨床救急医学会の学会誌を中心にした文献検索		
	3	文献選択	救急医療に関連する論文を読み込みます。		
	4	文献選択	救急医療に関連する論文を読み込みます。		
	5	レポート作成	読んだ論文が他者に伝わるようにまとめます。		
	6	レポート作成	読んだ論文が他者に伝わるようにまとめます。		
	7	小グループ討議	少人数で抄読会		
	8	小グループ討議	少人数で抄読会		
	9	大グループ討議	クラスルームでの抄読会		
	10	大グループ討議	クラスルームでの抄読会		

[illegible]

授業科目	研究基礎 B		担当教員	三上 剛人		
対象年次・学期	3 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	10 回	時間数	20 時間
授業目的	研究に必要な基礎的能力を育成する。 関連する研究論文を読み知見を広げる。					
到達目標	救急救命士に関連する研究をクリティークする。 1つ以上の研究論文の要点をまとめ、発表できる。					
テキスト・ 参考図書等						
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	0	レポートと提出物にて評価します。筆記試験はありません。			
	レポート	80				
	小テスト	0				
	提出物	20				
	その他	0				
履修上の 留意事項	研究論文を読み、他者に紹介できるようにまとめます。 講義主体ではなく、調べ学習中心で進めていきます。					
履修主題・ 履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	研究の概要	研究とは？救急医療における研究			
	2	関連学会	主に臨床救急医学会の学会誌を中心にした文献検索			
	3	文献選択	救急医療に関連する論文を読み込みます。			
	4	文献選択	救急医療に関連する論文を読み込みます。			
	5	レポート作成	読んだ論文が他者に伝わるようにまとめます。			
	6	レポート作成	読んだ論文が他者に伝わるようにまとめます。			
	7	小グループ討議	少人数で抄読会			
	8	小グループ討議	少人数で抄読会			
	9	大グループ討議	クラスルームでの抄読会			
	10	大グループ討議	クラスルームでの抄読会			

[illegible]

授業科目	総合シミュレーションⅡ A		担当教員	阿部 鯛一	
対象年次・学期	3 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	90 回	時間数
授業目的	救急救命士の国家試験では、現場での実践力を問う状況設定問題が大きな比重を占めている。本授業では、救急救命士として医学的な対応能力の重要性を理解し、経験を手掛かりに学術的根拠に基づいた行動ができるようになることを主眼とする。				
到達目標	各種の情報から、症状（病態）を予測し一連の活動ができる。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第 11 版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	各項目ごとに実施される確認試験の中間得点と定期試験の結果を総合的に評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項	基本手技の習得（指導）から、特定行為までの手技を完全に習得する。 履修年間授業計画は別途。 資器材の事前準備時間を考慮し、開始時刻前に集合すること。 グループワークが基本となるため、欠時はしないこと。 一生懸命な姿勢で全力の行動を原則とする。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	災害医療	集団災害とは、トリアージについて		
	2	災害医療	集団災害とは、トリアージについて		
	3	災害医療	集団災害活動		
	4	災害医療	集団災害活動		
	5	災害医療	集団災害活動		
	6	災害医療	集団災害活動		
	7	災害医療	集団災害活動		
	8	災害医療	集団災害活動		
	9	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	10	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	11	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	12	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	13	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	14	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	15	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	16	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	17	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	18	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	19	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		

[illegible]

	52	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	53	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	54	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	55	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	56	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	57	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	58	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	59	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	60	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	61	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	62	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	63	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	64	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	65	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	66	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	67	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	68	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	69	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	70	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	71	BLS 指導	中学生に対する BLS 指導 (米里中学校)
	72	BLS 指導	中学生に対する BLS 指導 (米里中学校)
	73	BLS 指導	中学生に対する BLS 指導 (米里中学校)
	74	BLS 指導	中学生に対する BLS 指導 (米里中学校)
	75	グループワーク	医療機器管理実習指導案
	76	グループワーク	医療機器管理実習指導案
	77	グループワーク	医療機器管理実習指導案
	78	グループワーク	医療機器 (パルスオキシメーターについて)
	79	グループワーク	医療機器 (除細動器について)
	80	グループワーク	医療機器 (12 誘導心電図について)
	81	総合演習	総括
	82	総合演習	総括
	83	総合演習	総括
	84	総合演習	総括
	85	総合演習	総括
	86	総合演習	総括
	87	総合演習	総括

	88	総合演習	総括
	89	総合演習	総括
	90	総合演習	総括

[illegible]

授業科目	総合シミュレーションⅡ B		担当教員	阿部 鯛一	
対象年次・学期	3 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	90 回	時間数
授業目的	救急救命士の国家試験では、現場での実践力を問う状況設定問題が大きな比重を占めている。本授業では、救急救命士として医学的な対応能力の重要性を理解し、経験を手掛かりに学術的根拠に基づいた行動ができるようになることを主眼とする。				
到達目標	各種の情報から、症状（病態）を予測し一連の活動ができる。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第 11 版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	各項目ごとに実施される確認試験の中間得点と定期試験の結果を総合的に評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項	基本手技の習得（指導）から、特定行為までの手技を完全に習得する。 履修年間授業計画は別途。 資器材の事前準備時間を考慮し、開始時刻前に集合すること。 グループワークが基本となるため、欠時はしないこと。 一生懸命な姿勢で全力の行動を原則とする。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	災害医療	集団災害とは、トリアージについて		
	2	災害医療	集団災害とは、トリアージについて		
	3	災害医療	集団災害活動		
	4	災害医療	集団災害活動		
	5	災害医療	集団災害活動		
	6	災害医療	集団災害活動		
	7	災害医療	集団災害活動		
	8	災害医療	集団災害活動		
	9	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	10	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	11	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	12	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	13	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	14	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	15	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	16	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	17	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
	18	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）		
19	救急活動実習	様々な症例に対応し、適切な活動を実施する（ブラインド訓練）			

[illegible]

	52	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	53	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	54	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	55	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	56	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	57	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	58	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	59	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	60	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	61	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	62	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	63	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	64	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	65	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	66	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	67	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	68	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	69	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	70	グループワーク (ジグソー法)	各個人で疾患を調べ担当した部分をグループの学生に共有する。
	71	BLS 指導	中学生に対する BLS 指導 (米里中学校)
	72	BLS 指導	中学生に対する BLS 指導 (米里中学校)
	73	BLS 指導	中学生に対する BLS 指導 (米里中学校)
	74	BLS 指導	中学生に対する BLS 指導 (米里中学校)
	75	グループワーク	医療機器管理実習指導案
	76	グループワーク	医療機器管理実習指導案
	77	グループワーク	医療機器管理実習指導案
	78	グループワーク	医療機器 (パルスオキシメーターについて)
	79	グループワーク	医療機器 (除細動器について)
	80	グループワーク	医療機器 (12 誘導心電図について)
	81	総合演習	総括
	82	総合演習	総括
	83	総合演習	総括
	84	総合演習	総括
	85	総合演習	総括
	86	総合演習	総括
	87	総合演習	総括

	88	総合演習	総括
	89	総合演習	総括
	90	総合演習	総括

[illegible]

授業科目	総合臨床救急 A		担当教員	遠藤 貢	
対象年次・学期	3 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	30 回	時間数 60 時間
授業目的	これまで学んできた知識を用い、疾患鑑別、必要な処置を理解し、国家試験の状況設定問題を解答できるようになる。				
到達目標	国家試験の状況設定問題を解答できる。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第 11 版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	定期試験、小テスト等により総合的に評価する		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項	様々な疾病を理解する。過去国家試験問題、分野別問題を中心に国家試験に対応できるよう対策を行う。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	人体の構造と機能	人体の構造と機能・生体の構成とその役割		
	2	人体の構造と機能	神経系・感覚系・呼吸系・循環系		
	3	人体の構造と機能	消化系・泌尿系・生殖系		
	4	人体の構造と機能	内分泌系・免疫系・血液系		
	5	人体の構造と機能	筋骨格系・皮膚系		
	6	疾患の成り立ちと回復の過程	成長・発達と老化・疾患・炎症と感染・循環障害		
	7	疾患の成り立ちと回復の過程	代謝障害・組織の退行性進行性変化・腫瘍・奇形・損傷・死		
	8	健康と社会保障	保健医療制度・社会保障・社会福祉・保険制度		
	9	救急医療概論	救急活動の基本・救急救命士の役割と責任・法規・災害医療		
	10	救急医療概論	救急活動の基本・救急救命士の役割と責任・法規・災害医療		
	11	救急医療概論	全体所見の観察・局所所見の観察		
	12	救急医療概論	重症度・緊急度・処置総論・処置各論		
	13	救急医療概論	在宅医療・薬物・検査・感染とその予防・放射線		
	14	救急医療概論	コミュニケーション・ストレス・安全管理		
	15	救急症候・病態生理学	心肺停止・ショック・循環不全		
	16	救急症候・病態生理学	意識障害・呼吸困難・発熱・頭痛・めまい		
	17	救急症候・病態生理学	運動・感覚・痙攣・胸痛・動悸・不整脈		
	18	救急症候・病態生理学	喀血・腰痛・背部痛・鼻出血・嘔吐・下痢・歯痛		
	19	救急症候・病態生理学	血尿・性器出血・鼻出血・嘔吐・下痢・歯痛		
	20	疾病救急医学	神経・感覚・歯・口腔・呼吸・循環・消化疾患		
	21	疾病救急医学	泌尿・生殖・内分泌・代謝・電解質・血液・免疫疾患		
22	疾病救急医学	筋骨格・皮膚・感染症・小児・高齢者・産婦人科・精神疾			

			患
	23	外傷救急医学	外傷総論・受傷機転・外傷性ショック・現場活動
	24	外傷救急医学	頭部・顔面・頸部・脊髄・胸部・腹部・骨盤・四肢外傷
	25	外傷救急医学	皮膚・軟部・多発・妊婦・小児・高齢者外傷
	26	外傷救急医学	熱傷・電撃症・化学損傷・異物・縊頸・絞頸・刺咬症
	27	中毒・環境障害	中毒総論・中毒各論・溺水・熱中症・偶発性低体温
	28	中毒・環境障害	高山病・減圧障害・酸素欠乏症・凍傷・環境障害
	29	まとめ	
	30	まとめ	

[illegible]

授業科目	総合臨床救急 B		担当教員	遠藤 貢	
対象年次・学期	3 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	30 回	時間数 60 時間
授業目的	これまで学んできた知識を用い、疾患鑑別、必要な処置を理解し、国家試験の状況設定問題を解答できるようになる。				
到達目標	国家試験の状況設定問題を解答できる。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第 11 版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	定期試験、小テスト等により総合的に評価する		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項	様々な疾病を理解する。過去国家試験問題、分野別問題を中心に国家試験に対応できるよう対策を行う。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	人体の構造と機能	人体の構造と機能・生体の構成とその役割		
	2	人体の構造と機能	神経系・感覚系・呼吸系・循環系		
	3	人体の構造と機能	消化系・泌尿系・生殖系		
	4	人体の構造と機能	内分泌系・免疫系・血液系		
	5	人体の構造と機能	筋骨格系・皮膚系		
	6	疾患の成り立ちと回復の過程	成長・発達と老化・疾患・炎症と感染・循環障害		
	7	疾患の成り立ちと回復の過程	代謝障害・組織の退行性進行性変化・腫瘍・奇形・損傷・死		
	8	健康と社会保障	保健医療制度・社会保障・社会福祉・保険制度		
	9	救急医療概論	救急活動の基本・救急救命士の役割と責任・法規・災害医療		
	10	救急医療概論	救急活動の基本・救急救命士の役割と責任・法規・災害医療		
	11	救急医療概論	全体所見の観察・局所所見の観察		
	12	救急医療概論	重症度・緊急度・処置総論・処置各論		
	13	救急医療概論	在宅医療・薬物・検査・感染とその予防・放射線		
	14	救急医療概論	コミュニケーション・ストレス・安全管理		
	15	救急症候・病態生理学	心肺停止・ショック・循環不全		
	16	救急症候・病態生理学	意識障害・呼吸困難・発熱・頭痛・めまい		
	17	救急症候・病態生理学	運動・感覚・痙攣・胸痛・動悸・不整脈		
	18	救急症候・病態生理学	喀血・腰痛・背部痛・鼻出血・嘔吐・下痢・歯痛		
	19	救急症候・病態生理学	血尿・性器出血・鼻出血・嘔吐・下痢・歯痛		
	20	疾病救急医学	神経・感覚・歯・口腔・呼吸・循環・消化疾患		
	21	疾病救急医学	泌尿・生殖・内分泌・代謝・電解質・血液・免疫疾患		
22	疾病救急医学	筋骨格・皮膚・感染症・小児・高齢者・産婦人科・精神疾			

			患
	23	外傷救急医学	外傷総論・受傷機転・外傷性ショック・現場活動
	24	外傷救急医学	頭部・顔面・頸部・脊髄・胸部・腹部・骨盤・四肢外傷
	25	外傷救急医学	皮膚・軟部・多発・妊婦・小児・高齢者外傷
	26	外傷救急医学	熱傷・電撃症・化学損傷・異物・縊頸・絞頸・刺咬症
	27	中毒・環境障害	中毒総論・中毒各論・溺水・熱中症・偶発性低体温
	28	中毒・環境障害	高山病・減圧障害・酸素欠乏症・凍傷・環境障害
	29	まとめ	
	30	まとめ	

[illegible]

授業科目	特殊外傷各論 A	担当教員	遠藤 貢		
対象年次・学期	3 年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	8 回	時間数	16 時間
授業目的	特殊外傷病態の的確な観察知識の習得。				
到達目標	特殊創傷の観察能力の向上と病態の理解ができる。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第 11 版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	定期試験、レポートの結果により総合的に評価する		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項	発生機序と病態を理解する。 特異な症状と応急処置を学ぶ。 社会的背景を捉えタイムリーな履修を主題とする。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	災害医療	災害について		
	2	災害医療	災害に対する救急隊の対応		
	3	外傷初期診療理論	外傷による損傷		
	4	外傷初期診療理論	外傷による処置		
	5	DMAT	DMAT の実際		
	6	緊急度判断	JTAS、トリアージ		
	7	災害救助	近年の災害について		
	8	トピックス	蘇生医療の最新等		

[illegible]

授業科目	特殊外傷各論 B	担当教員	遠藤 貢		
対象年次・学期	3 年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	8 回	時間数	16 時間
授業目的	特殊外傷病態の的確な観察知識の習得。				
到達目標	特殊創傷の観察能力の向上と病態の理解ができる。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第 11 版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	定期試験、レポートの結果により総合的に評価する		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項	発生機序と病態を理解する。 特異な症状と応急処置を学ぶ。 社会的背景を捉えタイムリーな履修を主題とする。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	災害医療	災害について		
	2	災害医療	災害に対する救急隊の対応		
	3	外傷初期診療理論	外傷による損傷		
	4	外傷初期診療理論	外傷による処置		
	5	DMAT	DMAT の実際		
	6	緊急度判断	JTAS、トリアージ		
	7	災害救助	近年の災害について		
	8	トピックス	蘇生医療の最新等		

[illegible]